矢祭町 橋梁長寿命化修繕計画



高地原橋 (L=67.40m)

令和5年3月

福島県東白河郡矢祭町

一 目 次 一

| - IAC LS | | |
|--|----|---|
| I. 様式1-1 ※() は「道路メンテナンス事業補助制度」 における補助要件 1. 長寿命化修繕計画の目的 | 1 | 一国土交通省一 インフラ長寿命化 基本計画における記載事項 |
| 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁 | 3 | 1. 対象施設 |
| 3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針) | 5 | 2. 計画期間 |
| 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針) | 7 | 3. 対策の優先順位の考え方4. 個別施設の状態等 |
| 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費) | | 5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用 |
| 6. 長寿命化修繕計画による効果 | 9 | |
| 7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者 | 10 | |
| Ⅲ.様式1-2対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度及び対策内容・着手時期又は架替え時期 | | |

Ⅲ. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 矢祭町の現状

中通りの南部に位置する矢祭町は、市街地の標 高が約200m、周囲は東側の阿武隈山系及び西側の 八溝山系の標高約500mを越える山々に囲まれてお り、町の中央を南北に流れる久慈川に沿う平坦地 に市街地を形成しています。

人口は5,327人(2023年3月1日現在)、面積は 118. 27km²、気候は太平洋側の気候に属し、年間の 平均気温は平野部で約16℃、山間部で12℃で、比 較的温暖で積雪の少ない町です。

町内には国道118号、349号、5本の一般県道、ま た、JR水郡線が通り、東館駅、矢祭山駅がありま 。町道は延長94.9kmが整備されており、国県道 及び農耕地、集落に通じる生活道路等として利用 されています。

町が管理する橋梁は70橋あり、そのうち30m以上 の大きな橋梁は9橋、うち7橋が久慈川に架かって います。町の南西部で久慈川は山間部を流れ、右 岸部では迂回路の確保が困難となっています。令 和元年10月の豪雨及び久慈川の増水によって高地 原橋が流出し、高地原地区で孤立集落が発生しま した。

町では、令和3年度に高地原橋の復旧工事(新橋 設置) が完了したほか、管理橋梁の補修工事を順 次計画・実施しています。

2) 背景

矢祭町の管理する橋梁70橋の中で、2022年時 点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約 49%ですが、10年後の2032年には77%、20年後 の2042年には86%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従 来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁 の修繕・架け替えに要する費用が増大となるこ とが懸念されます。

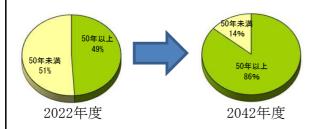


福島県内市町村位置図

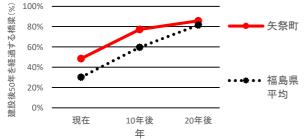
近隣町村との比較

| 1=0.000 | | | | | | | | | | |
|---------|---------|-------|--------------------------|-----|--------|-------------|--|--|--|--|
| | 面積 | 人口 | 人口密度 | 橋梁数 | 橋梁の密度 | 一橋当り の人口 | | | | |
| 町村名 | (km²) | (人) | (l/km^2) | (橋) | (橋/k㎡) | (人/橋) | | | | |
| 矢祭町 | 118. 27 | 5327 | 45 | 70 | 0.6 | 76 | | | | |
| 塙町 | 211. 41 | 8195 | 39 | 101 | 0.5 | 81 | | | | |
| 棚倉町 | 159. 93 | 13277 | 83 | 80 | 0.5 | 166 | | | | |
| 鮫川村 | 131. 34 | 3009 | 23 | 65 | 0.5 | 46 | | | | |

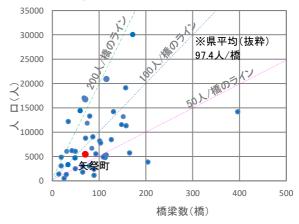
人口は2023年現在



建設後50年を経過する橋梁の割合(抜粋)



福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

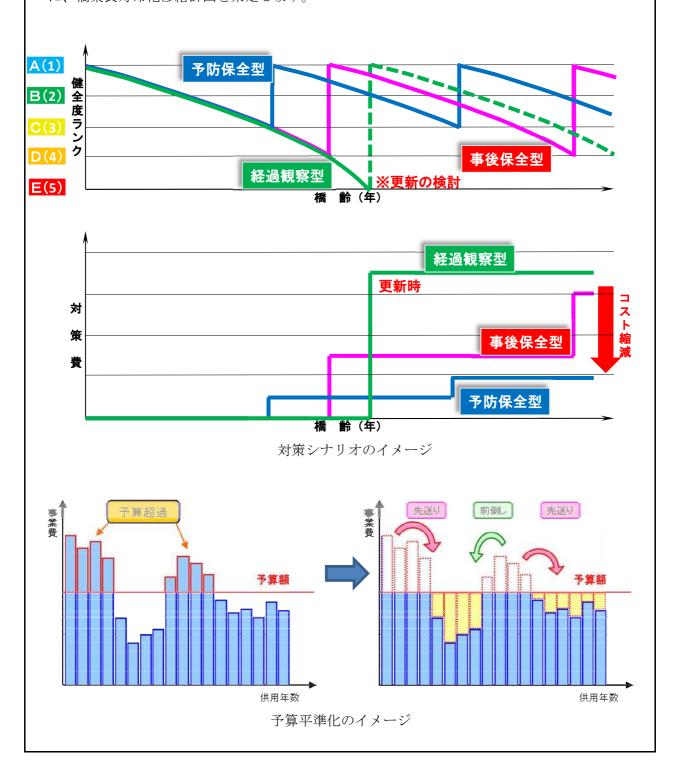


3) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に 橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型(対症療法型)から、"損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う"予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

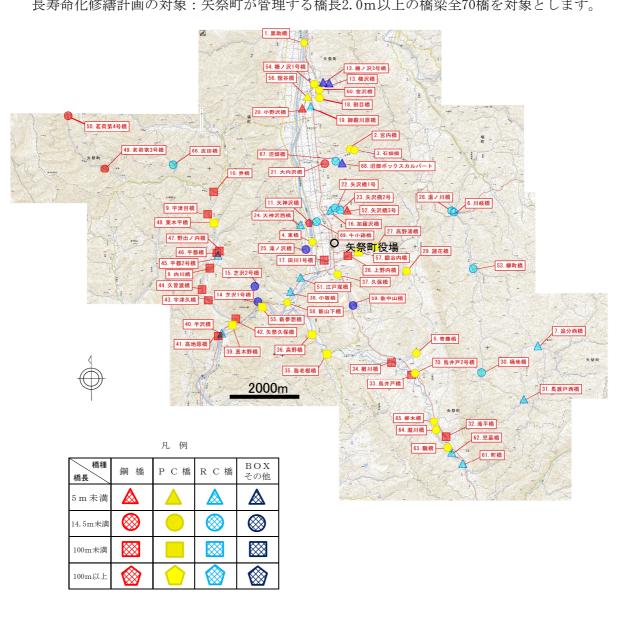
そこで矢祭町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



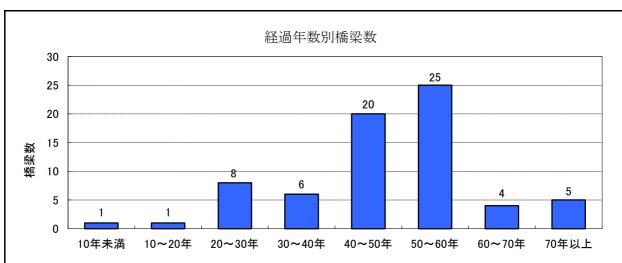
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁 (1. 対象施設)

| | 町道 1級 | 町道 2級 | 町道 その他 | 合計 |
|-----------------|-------|-------|--------|----|
| 全管理橋梁数 | 11 | 12 | 47 | 70 |
| うち計画の対象橋梁数 | 11 | 12 | 47 | 70 |
| うちこれまでの計画策定橋梁数 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| うち2022年度計画策定橋梁数 | 11 | 12 | 47 | 70 |

長寿命化修繕計画の対象:矢祭町が管理する橋長2.0m以上の橋梁全70橋を対象とします。

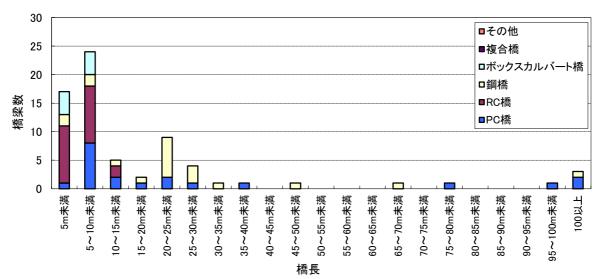


対象橋梁位置図



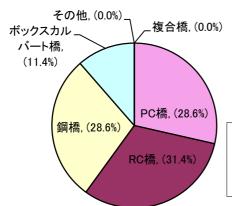
長寿命化修繕計画で対象としている70橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は34橋あり、全体の48%を占めています。

橋長別橋梁数



長寿命化修繕計画で対象としている70橋のうち、10m未満の橋梁が41橋あり全体の58%を占めています。一方、30m以上の橋梁は9橋あり全体の13%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別ではPC橋が20橋で全体の約28.6%、RC橋が22橋、ボックスカルバート橋が8橋でコンクリート橋が全体の71%を占めています。 鋼橋は20橋(28.6%)となっています。

■PC橋
■RC橋
□鋼橋
□ボックスカルバート橋
■複合橋
■その他

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

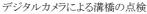
(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検





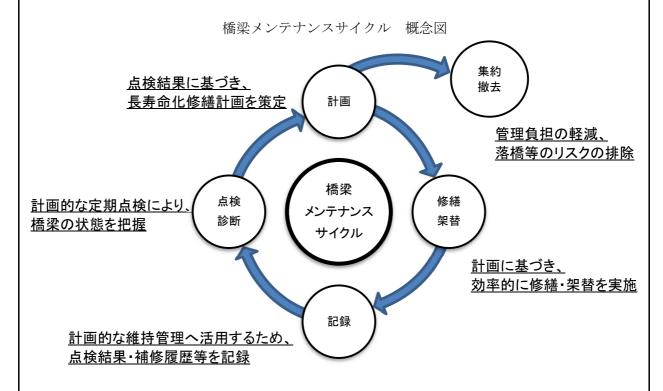


AI · 画像診断

橋梁点検における新技術の活用例: (出典) 国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

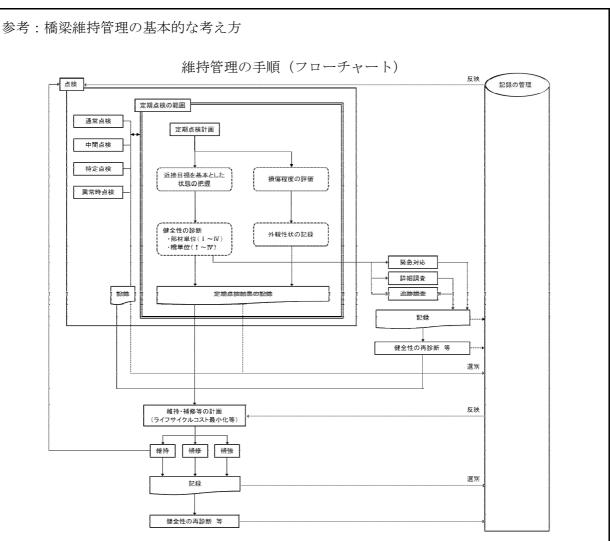
利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。



3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間:2023年~2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針



出典:橋梁定期点検要領(国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3)を一部修正

点検の種類

| | 突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点 |
|-------|-------------------------------------|
| 通常点検 | 検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものが |
| | これを兼ねるものと位置づけられる場合もある。 |
| | 橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実 |
| 定期点検 | 施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、 |
| | 必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。 |
| | 定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、 |
| 中間点検 | 次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場 |
| | 合に計画される。 |
| | 塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な |
| 臨時点検 | 評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化 |
| | した内容によって行われる点検。 |
| | 地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋 |
| 異常時点検 | 型長、 |
| | 条ツ仏思を唯範するために踊时で11446の忠快。 |

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (3. 対策の優先順位の考え方)

矢祭町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の86%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報(橋長や幅員等)や重要度を考慮した管理区分を 橋梁毎に設定します。

点検方法 簡易予防保全 該当橋梁 補修時期 管理区分 橋梁点検 (1回/5年) ※3 寿命 日常巡回※2 桁 洗浄 橋面 洗浄 ・跨線橋・跨道橋・橋長100m以上・重要度(※1)該当3つ 本格予防 保全型 健全度ランクD(4) 原則架替えは行わない 0 0 2 にしない 健全度ランクD(4) A 予防保全型 重要度該当2つ 100年 0 0 (5) (5) 健全度ランクE(5) にしない 重要度該当0 または1つ B 事後保全型 60年 0 (5) 0 重要度該当() かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 健全度ランクE(5) になるまで 耐用年数 C 経過観察型 0 0 ・仮橋 ・橋梁以外の形式 ※2「日常巡回」は、排水構の 清掃及び沓座面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ す) ※3橋梁点検費用は計上 第:5年に1回 第:5年に1回 ※1「重要度」①緊急輸送路②1,2級市町村道③バス路線 特殊橋梁は 橋梁ごとに 畫

管理区分の定義

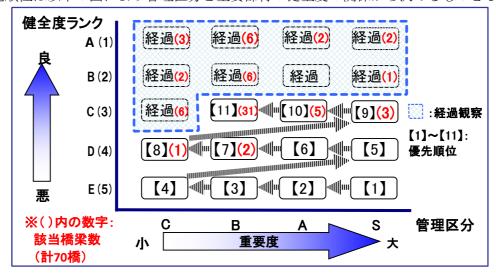
(・費用の縮減に関する具体的な方針)

矢祭町の管理橋梁の中で、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート(溝橋の定義外)や横断暗渠等への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めます。

※検討橋梁:<u>御殿川原橋</u>、<u>半沢橋</u>(2橋を管理外とすることで維持管理費用が約0.4億円削減/50年)

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果(4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

矢祭町は平成28年度~令和4年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧 (判定区分[II]、健全度ランク[C(3)]以上を抜粋:計48橋/70橋)

| | | <u>``</u> | 47CP-7 | 3 L T 3 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ | | | | 97345 | | *** | · HI TO INI/ | ○ IIM7 |
|--------------|-----------|-----------|---------|---|-----------------|------|-----|-----------------|------------------------|------------------|------------------|----------------------|
| 橋梁名 | 橋長 (m) | 径間数 | 上部工使用材料 | 上部工構造形式 | 車道 幅員 (m) | 竣工年 | 経過年 | 前回 健全度 区分 | 今回 健全度 区分 | 今回 健全度 ランク | 部材種別 | 適用 |
| 朧橋 | 7.50 | 1 | RC橋 | RC T桁 | 6.54 | 1933 | 90 | П | Ш | D(4) | 主桁、床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 榧木橋 | 9.13 | 1 | RC橋 | RC T桁 | 6.00 | 1931 | 92 | П | Ш | D(4) | 主桁、床版、下部工 | ひびわれ、漏水・遊離石灰、剝離・鉄筋露出 |
| 小野沢橋 | 4.12 | 1 | 鋼溶接橋 | H形鋼(不明) | 3.00 | 1960 | 63 | Ш | Ш | D(4) | 主桁 | 腐食 |
| 茗荷第3号橋 | 14.40 | 1 | H型鋼 | H形鋼(不明) | 4.00 | 1965 | 58 | П | П | C(3) | 主桁、横桁、床板、下部工、支承部 | 腐食、剝離・鉄筋露出、支承部の機能障害 |
| 茗荷第4号橋 | 7.37 | 1 | 鋼溶接橋 | H形鋼(不明) | 4.01 | 1965 | 58 | П | П | C(3) | 主桁、横桁、床板、下部工、支承部 | 腐食、剝離・鉄筋露出、支承部の機能障害 |
| 皮田橋 | 12.60 | 1 | RC橋 | RC T桁 | 4.55 | 1965 | 58 | П | П | C(3) | 主桁、下部工 | ひびわれ |
| 宇津久橋 | 28.05 | 1 | 鋼溶接橋 | I桁(不明) | 4.00 | 1965 | 58 | П | П | C(3) | 主桁、下部工 | 腐食、ひびわれ |
| 新夢想橋 | 75.15 | 2 | PC橋 | ポステンT桁 | 7.50 | 1989 | 34 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 新山下橋 | 99.80 | 3 | PC橋 | ポステンT桁 | 7.50 | 1998 | 25 | П | П | C(3) | 主桁、床版、下部工 | ひびわれ、床版ひびわれ |
| 天神沢橋 | 160.00 | 5 | 鋼溶接橋 | I桁(不明) | 2.50 | 1963 | 60 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ、床版ひびわれ |
| 宇津目橋 | 18.00 | 1 | H型鋼 | H形鋼(不明) | 5.50 | 1968 | 55 | П | П | C(3) | 主桁、床版 | 腐食、剝離・鉄筋露出 |
| 柳町橋 | 7.20 | 1 | RC橋 | RC 中実床版 | 5.10 | 1985 | 38 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ |
| 川岐橋 | 5.88 | 1 | RC橋 | RC 中実床版 | 5.46 | 1970 | 53 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ |
| 界橋 | 21.04 | 1 | H型鋼 | H形鋼(不明) | 5.50 | 1968 | 55 | П | П | C(3) | 下部工、支承部 | ひびわれ、支承部の機能障害 |
| 追分西橋 | 3.39 | 1 | RC橋 | RC 中実床版 | 5.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ、変形・欠損 |
| 瀧川橋 | 12.62 | 1 | RC橋 | RC T桁 | 5.75 | 1930 | 93 | П | П | C(3) | 主桁、床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 栗木平橋 | 26.03 | 1 | PC橋 | ポステンT桁 | 3.50 | 1967 | 56 | П | П | C(3) | 主桁、床版 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 牛小路橋 | 5.50 | 1 | RC橋 | RC 中実床版 | 6.00 | 1988 | 35 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ |
| 鍛冶内橋 | 17.00 | _ | PC橋 | プレテン中空床版 | 6.50 | 1996 | 27 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 真木野橋 | 23.21 | _ | PC橋 | プレテン床版 | 4.50 | 1966 | 57 | П | П | C(3) | 主桁、床版、下部工 | ひびわれ、漏水・遊離石灰、剝離・鉄筋露出 |
| 加羅沢橋 | 4.93 | | RC橋 | RC 中実床版 | 3.00 | 1969 | 54 | П | П | C(3) | 床版 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 寄藤橋 | 8.40 | | PC橋 | プレテン床版 | 6.00 | 1993 | 30 | I | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水·遊離石灰 |
| 久保橋 | 9.90 | | PC橋 | プレテン床版 | 4.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 主桁、床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 宮内橋 | 10.50 | 1 | PC橋 | プレテン床版 | 5.00 | 1974 | 49 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 児墓橋 | 3.54 | _ | RC橋 | RC 中実床版 | 5.54 | 1935 | 88 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ、下部構造、ゆるみ・脱落 |
| 野出ノ内橋 | 26.50 | | H型鋼 | H形鋼(不明) | 3.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 田川1号橋 | 22.60 | _ | H型鋼 | H形鋼(不明) | 5.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 剥離・鉄筋露出、ひびわれ |
| 鳥井戸橋 | 20.10 | _ | H型鋼 | H形鋼(不明) | 4.00 | 1976 | 47 | П | П | C(3) | 床版 | 床版ひびわれ |
| 大内沢橋 | 8.81 | | H型鋼 | H形鋼(不明) | 7.45 | 1960 | 63 | П | П | C(3) | 主桁、横桁、床版 | 腐食 |
| 町橋 | 3.50 | | RC橋 | RC 中実床版 | 5.66 | 1935 | 88 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ、洗堀 |
| 芝沢2号橋 | 7.13 | | RC橋 | RC溝橋(BOXカルバート) | 8.70 | 1970 | 53 | I | II | C(3) | 床版、下部工 | 剝離・鉄筋露出、床版ひびわれ |
| 上野内橋 | 23.53 | 1 | H型鋼 | H形鋼(不明) | 3.60 | 1970 | 53 | II | П | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ、床版ひびわれ |
| 沼畑橋 | 6.30 | - | RC橋 | RC 中実床版 | 5.00 | 1980 | 43 | II | П | C(3) | 主桁、下部工 | ひびわれ |
| 新中山橋 | 6.70 | | RC橋 | RC溝橋(BOXカルバート) | 14.50 | 1997 | 26 | II | П | C(3) | 主桁、下部工 | ひびわれ |
| 割目橋 | 8.00 | | PC橋 | プレテン床版 | 3.60 | 1967 | 56 | II | П | C(3) | 床版、下部工 | 剝離・鉄筋露出、ひびわれ |
| 矢沢橋1号 | 6.44 | 1 | RC橋 | RC 中実床版 | 5.00 | 1969 | 54 | II | П | C(3) | 床版 | 漏水・遊離石灰 |
| 矢沢橋2号 | 6.29 | _ | RC橋 | RC 中実床版 | 5.00 | 1969 | 54 | П | П | C(3) | 主桁、下部工 | ひびわれ |
| 久曽渡橋 | 26.40 | | H型鋼 | H形鋼(不明) | 3.50 | 1973 | 50 | П | II | C(3) | 床版 | 床版ひびわれ |
| 平都橋 | 45.04 | _ | H型鋼 | H形鋼(不明) | 3.00 | 1981 | 42 | II | П | C(3) | 床版 | 床版ひびわれ |
| 諸花橋 | 7.50 | 1 | PC橋 | プレテン床版 | 3.00 | 1983 | 40 | II | П | C(3) | 床版 | 漏水・遊離石灰 |
| 滝平橋 | 20.00 | _ | H型鋼 | H形鋼(不明) | 4.00 | 1978 | 45 | II | II | C(3) | 床版、下部工 | ひびわれ、床版ひびわれ |
| 桶地橋 | 6.56 | _ | RC橋 | RC 中実床版 | 4.00 | 1993 | 30 | П | П | C(3) | 床版 | 床版ひびわれ |
| 半沢橋 | 3.00 | | RC橋 | RC 中実床版 | 5.13 | 1960 | 63 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 剝離・鉄筋露出、変形・欠損 |
| 工戸塚橋 江戸塚橋 | 3.45 | | RC橋 | RC 中実床版 | 5.60 | 1980 | 43 | П | П | C(3) | 床版、下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 矢沢橋3号 | 4.20 | 1 | H型鋼 | H形鋼(不明) | 2.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 主桁 | 腐食 |
| 小坂橋 | 2.40 | _ | RC橋 | RC 中実床版 | 3.50 | 1960 | 63 | П | П | C(3) | 下部工 | 腐食、ひびわれ |
| 天神沢西橋 | 4.21 | | RC橋 | RC 中実床版 | 3.00 | 1975 | 48 | П | П | C(3) | 下部工 | 漏水・遊離石灰、ひびわれ |
| 滝ノ沢橋 | 5.80 | _ | RC橋 | RC 中美MM RC溝橋(BOXカルバート) | 4.00 | 1975 | 43 | П | П | C(3) | 下部工 | ひびわれ |
| (电/) (間) | ე.გე | 1 | 八し間 | 1、一件間(100/1/1/1/1一下) | 4.00 | 1900 | 43 | П | П | C(3) | 1. 即上 | 0.0.4741 |

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係(計70橋)

| | 区分 | 状 態 | | 健全度 ランク | 判定区分 | 備考 | 該当 橋梁数 | 割合 |
|----|--------|--|---|------------|----------------|----------------------|-----------|-----|
| I | 健全 | 構造物の機能に支障が生じて いない状態 | | A(1) | 健全 | 損傷が認められない | 13橋 | 19% |
| П | 予防保全段階 | 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望まし | | B(2) | 対策不要 | 損傷が軽微で補修を行う 必要がない | 9橋 | 13% |
| ш | 早期措置段階 | い状態 構造物の機能に支障が生じて いる可能性があり、早期に措 | | C(3) | 状況に応じ 早めに対策 | 状況に応じて補修を行 う必要がある | 45橋 | 64% |
| Ш | 干别相直权陷 | 置を講ずべき状態 | / | D (4) | 早急に補修 必要 | 速やかに補修を行う必 要がある | 3橋 | 4% |
| IV | 緊急措置段階 | 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 <mark>緊急に措置を講ずべき</mark> 状態 | / | E (5) | 緊急対応の 必要 | 緊急対策の必要がある | 0橋 | 0% |

- 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期(5.対策内容と実施時期)
- (・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
- (・対策内容、対策の着手・完了予定年度)
- (・対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

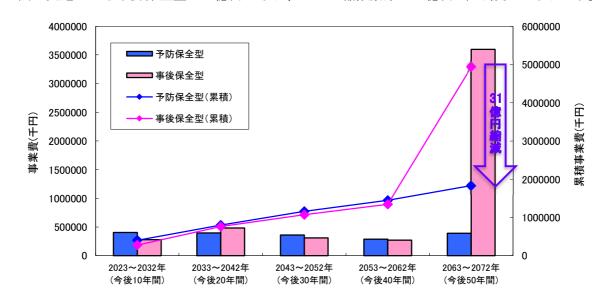
補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

- ●活用促進技術に指定されている新技術の例
 - 鋼部材の塗装(錆転換型防食塗装)。
 - ・コンクリート部材の補修(断面修復工、表面含浸工)。
 - ・伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

6. 長寿命化修繕計画による効果

矢祭町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを 行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する70橋について、年間の予算制約額を0.40億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型(対症療法型)が49億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が18億円となり、コスト縮減効果は31億円(63%減)となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

| | and the state of t | a standard amount to but the standard and a second to |
|---|--|---|
| 7 | 計画英字用水効塞や F7K号目暗形 | した学識経験者等の専門知識を有する者 |
| | - 61 191 92 だりし 一 60 25 20 ました息 かぶかり | ン/、一HIBLMF999/17 マデソノディー JUNBL97 19 9 6)17 |

| 1) 計画策定担当部制 矢祭町 事業課 t | 署 cel:0247-46-4577 | | |
|--------------------------|-----------------------|--|--|
| | | | |
| | | | |